

2015年
入試用

学校説明会レポート



都立武蔵高等学校附属中学校 都立武蔵高等学校

日時 2014年 6月27日(金) 9時40分～11時00分

所在地 武蔵野市

会場 会議室

対象 塾

出席者数 約40名

配付資料 教育情報交換会式次第、入学者選抜の概要、進路状況、センター試験の得点状況、チャレンジ教室の案内、中高見学会・説明会日程表、中高等学校案内、武蔵高校を目指す皆さんへ(昨年版)、中高ポスター、中学校適性検査問題・サンプル問題・解答例、高校中高一貫校グループ作成問題・解答例、高校小論文問題など

説明会の概要

資料確認

教育情報部 井原先生 9:40～9:45

あいさつ

校長 守屋先生 9:45～9:49

- 26年度は、都立中高一貫校の5校が同一問題で入試を行いました。中学に関しては、次年度の問題は高校の進学重点校のように一部差し替え問題を行う予定です。
- 中高一貫校となって初めて卒業生が出ました。合格した大学を見ると、生徒たちはがんばって結果を出してくれたと思います。

附属中学校の教育活動について

中学副校長 尾崎先生 9:49～10:15

- 都立中高一貫校として7年前に開校し、この春に1期生が卒業しました。中学3クラス、高校で2クラスが加わり、高校では5クラス編成です。
- 教育理念で、「社会に貢献できる知性豊かなリーダーに」を掲げています。教育目標は「豊かな知性と感性」「健康な心と体」「向上進取の精神」の3つです。この3つを基盤に、本校独自の「地球学」「奉仕」など実践的なカリキュラムを取り入れている、74年の伝統ある進学校です。
- 大学合格実績は、2014年春は卒業生196人中中国公立大に58名、難関私立大に81名が合格し、目標に近い実績を出すことができました。都の進学重点校に実績数では届き

ませんが、進学重点校が8クラス編成であるのに対し本校は5クラス編成なので決して負けていません。

- この実績は質の高い授業ときめ細かい指導によるものです。具体的には①発展的内容を取り入れた授業、②高1での高入生みのクラス編成、③少人数習熟度別の授業展開、④考査後の弱点補強プログラム「学習ポートフォリオ」の実施、⑤土曜授業や補習・補講の実施が挙げられます。②では高入生には数学を、内進生には英語を強化して学力の向上を図り、④では各自がそれぞれの目標に沿ってレベルアップを目指しています。⑤の土曜授業は、高校では月に約2回行い、中学でも回数は少ないですが実施しています。
- 中高の6年間で体系的なキャリア教育と学校行事を行っています。高校では春・冬のセミナーが行われ、学年に応じた進路講演会なども開かれます。中学では奉仕体験や職場体験、大学訪問などが自分の将来を考えるヒントになっています。校外学習のほか、文化祭・体育祭・音楽祭の三大行事は中高ともに実行委員会を立ち上げ、自分たちで企画・運営しています。中1から高2まで毎年宿泊行事があるのも本校の特徴です。
- 武蔵高校は交通のアクセスが良く、中央線・西武新宿線・西武池袋線・京王線からも通学が可能です。最寄り駅の武蔵境駅が現在改装中で、来年にはきれいになり、通学も快適になります。
- 教育課程の一部を、中学での質の高い理科の授業で説明します。中1の生物の分類では、自分で考えてレポートにまとめます。顕微鏡で見た葉の構造の拡大図など、細かくメモを取り、ときにはグループでまとめます。
- 学力向上については、全国レベルの学力調査に参加しており、全国平均53点に対し、本校生は88点という高得点で、全国でベスト10に入りました。また、全校で漢検へ取り組んでおり、地理オリンピックでは国内金メダルでポーランド世界大会に出場する生徒もいます。ほかにも数学オリンピックでアジア大会に出場した生徒や、科学甲子園ジュニア大会で金賞を受賞した生徒もいます。
- 中高一貫校にありがちな課題は、学力差の広がりの中だるみです。これらを克服するため、考査後に弱点補強講座を開くほか、少人数習熟度別で授業を展開するなど工夫をしています。中だるみ防止としては、模試や実力テストなどを行い、高校受験はないものの第一志望に武蔵高校と書いて模試を受けさせています。
- 部活は21あり、兼部者もいるので参加率は100%以上になっています。

高等学校の教育活動と今春の大学進学状況について

高校副校長 榎先生 10:15~10:24

- 教育課程では34単位ですが、年間20回の土曜授業を加えて授業時間を確保しています。3年で文A・B、理A・Bに分かれ、より細かく進路に対応します。公立大や難関私大から指定校推薦枠を48名分いただいています。2014年は14名が使い、34名分は返上しました。自分の力を信じて、一般で受験する生徒が多いです。

附属中学校の適性検査について

主幹教諭 中村先生 10:24~10:48

- 来年の適性検査の改訂について、要点をお話します。適性検査Ⅰ（サンプルは武蔵・小石川）は大問3題で、すべて共同作成問題です。適性検査Ⅱ（サンプルは1立川国際、2武蔵、3武蔵）は大問3題のうち1題は自校作成問題、その他の2題は共同作成問題です。適性検査Ⅲ（サンプルはすべて武蔵）の大問は自校作成問題です。
- 内容的には今年とほとんど変わらず、Ⅰは長文を出題します。文章を読み取る力が要求されますので、自己の体験に基づく論理的な文章を書くように心がけてください。Ⅱは、従来は資料の読み取りでしたが、共同作成問題が入ってくるので少し内容が変わると思います。論理的な思考力と表現力が必要ですし、資料を分析する力と考察力がほしいです。Ⅲについては従来通りで変更はありません。リーダーとして計画する能力、課題を解決し、探求する力を見たいと思います。
- 適性検査Ⅱの例1の③はオゾンホールについての出題です。フロンガスの割合と生産量の関係について2つ以上のグラフから解答を導き出しました。例Ⅰの②はソーラーを広く行き渡らせるためにどうしたらよいかについて書かせました。適性検査Ⅲの例2の①ではリーダーとして球技大会の練習場所を割り当てるという問題で、解答は言葉と式で表しました。ボールをカラフルに色分けする展開図の問題も出ています。複数の解法やより効果的な考え方を短い時間で処理する能力を見たいと思いました。展開図では絞り染めの問題も出ていて、生徒がサマーキャンプで体験した藍染めを取り上げています。
- 本校の教育活動に十分対応できる力を持った生徒に来てほしいので、適性検査ではそれらを発揮できるような問題を必ず出しています。

説明会の雰囲気・印象

- コの字型に並べられた会議室で行われたため、スライドが少々見にくい席もあったようですが、中高別の資料が整っており、適性検査の詳細な説明など、内容は濃いものでした。

学校周辺の環境

- 駅前の賑やかな商店街を抜け市民会館や自動車教習場の前を通り静かな住宅地へと続きます。学校周辺は落ち着いた住宅街で、学校の前には医院があります。学校はバス通りに面しており、学校前に武蔵高校前というバス停があり、通学にはバスも利用できます。歩道が歩きやすくゆったりとしていて通学は安全といえます。

交通

- JR中央線・西武多摩川線 武蔵境駅から 徒歩 10分
西武新宿線 田無駅から バスにて桜橋下車 徒歩 7分
西武池袋線 ひばりヶ丘駅から バスにて桜橋下車 徒歩 7分